

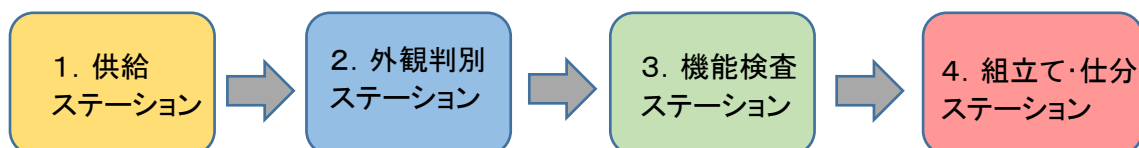
○10月から生産ロボットシステムコースの授業がスタートしました。

10月から生産ロボットシステムコースの授業がスタートしました。応用課程の生産機械システム技術科、生産電気システム技術科、生産電子情報システム技術科の各科1年生5～6名の学生が4台の産業用ロボットを活用した自動生産ラインの構築を行ないます。この実習を通して、自動生産システムを動かすために必要な産業用ロボットの操作やプログラミング、画像処理、機械加工、そしてシステム全体を自動で運転するプログラミング等の技術を学びます。

このロボットシステムコースは、応用課程1年次の標準課題と呼んでいる実習（2科目）のみを他の学生と別コースで行います。



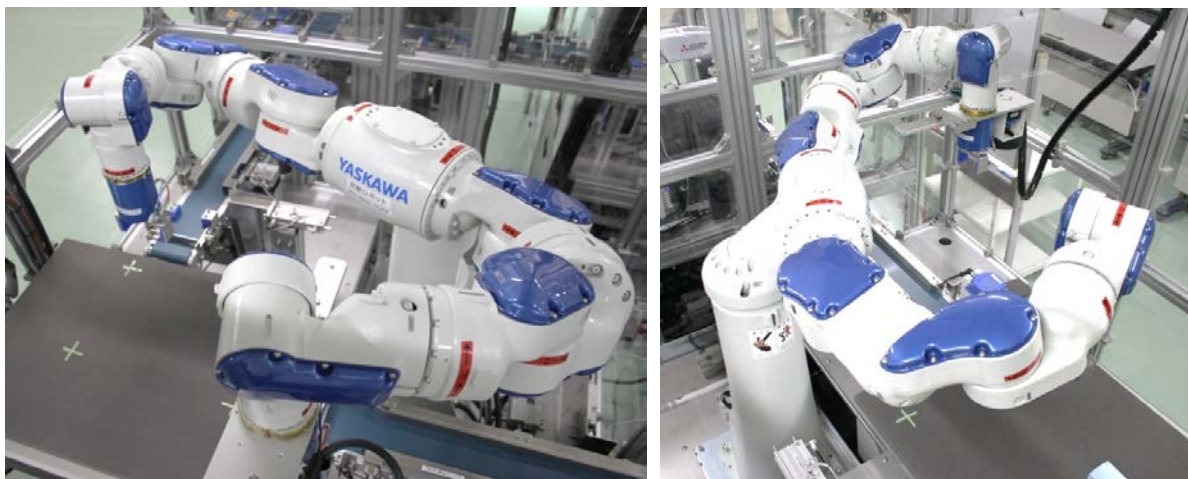
4台の生産ロボットを使って、電子基板の組立て、検査、仕分けを行い、生産ラインの構築、運用、保守、改善を学びます。3科で、一台ずつロボットを担当します。



4台のロボットの組み合わせと流れ

*生産システム系3科の学生がそれぞれ3つのステーションを担当します。

2. 外観判別ステーション ロボット： 安川電機製
MOTOMAN-SDA5F



外観判別ステーションは生産電子情報システム技術科5名が担当します。



外観判別ステーションのロボットとの通信プログラムを構築中です。

3. 機能検査ステーション

ロボット： 三菱電機製 RV-2F-D-SBY



機能検査ステーションは生産電気システム技術科5名が担当します。



産業用ロボットを使用した検査ステーションの自動化プログラムを製作しています。

4. 組立て・仕分ステーション
ロボット： 不二越製 MZ07-01



組立て・仕分けステーションは生産機械システム技術科6名が担当します。



工作機械のある実習場で、組立て・仕分けステーションに組み込むボタン電池装着装置を製作しています。